

# 第1学年A組 技術・家庭科授業案

公開Ⅱ 木工室  
授業者 山室 裕司

## 1 単元 木製食器での味わい（材料と加工Ⅱ）

### 2 単元の構想

#### （1）本単元で目指す子どもの姿

子どもは木製食器に触れ、それを使って食事をすることで、食器の材質が食事に影響を与えていることに気づく。木製食器について追究を深めていく中で、デザインが機能性を向上させることに関わっていることに気づき、使いやすい木製食器の形状について考え、製作を始める。そして仕上げの方法を検討する中で、安全で長期間使用することができる木製食器について考えを深めていく

#### （2）本単元で伸ばしたい力

前単元「循環する野菜、循環しない野菜」では、多くの品種の種を残していくためには、現在広く栽培されているF1種だけでなく、地域に伝統的に伝わる固定種の種も栽培していかなければいけないことに気づき、技術を判断する力を伸ばした。身近な製品の中に、自分が今まで気づかなかった技術があることを知った子どもは、その他の製品にもあるのではないかと考えるようになっている。

本単元では、まず生活を見つめる力を重視する。子どもは、日常生活の中で使用している食器には、陶器や磁器、鉄や木材などさまざまな材質でできたものがあることに気づく。そして材質が変化することで、製品の特性が変わることを見つけることができるようになる。木製食器は、削りだして成形するため、手触りや口触りをよくすることができることに気づく中で、知恵や技を活用する力を伸ばす。また木製食器の仕上げでは、防水・防カビ加工が行われる。これは、木製食器には欠かせない加工である。使用する用途に応じて、ニスや漆、植物オイルなど、状況に応じた技術を選択し、活用する大切さに気づくことができるようになる。そして日常生活の中で使用されている木製食器の安全性や機能性についても検討することができるようになり、生活や社会のあり方を導き出す力を伸ばしていくことができる。

#### （3）はたらきかけと「学んだこと」を行動につなげる子どもの姿

気づく段階では、木製食器で給食を食べている子どもの様子やその効果を紹介する。木製食器を使うことで、手で食器をもって食事をとったり、おかわりをする子どもが増えた事実を知る中で、食べやすいように形を工夫していたり、温かみや肌触りのよさがあることに気づき、どのように作られているのか調べ始める。

追究する段階では、子どもが実際に木製食器の工夫について追究してきた内容を掲示し、仲間の思いや考えを知ることができるようにする。また、形や材質を工夫することで、食器の使いやすさが変わることにつながるように、デザインや素材の追究をしている子どもの考えを取り上げ、意見交流を深めていく。子どもは、自分の木製食器のデザインを考え、製作し始める。

つなぐ段階では、子どもは製作してきた木製食器を実際に使用できるようにするために、仕上げの方法について追究していく。漆や植物オイル、ウレタンやニスなどさまざまな塗装の長所と短所を出しながら、適切な仕上げ方法を検討する場を設定することで、お互いの思いや考えをすり合わせながら、よりよい木製食器について共同で考えを深めていくことができる。その中でこれまで製作してきた経験から、製品の安全性や機能性を見つめ直すこと大切さに気づく。そして、他の製品もどのように作られているのか興味をもち、調べ始める。

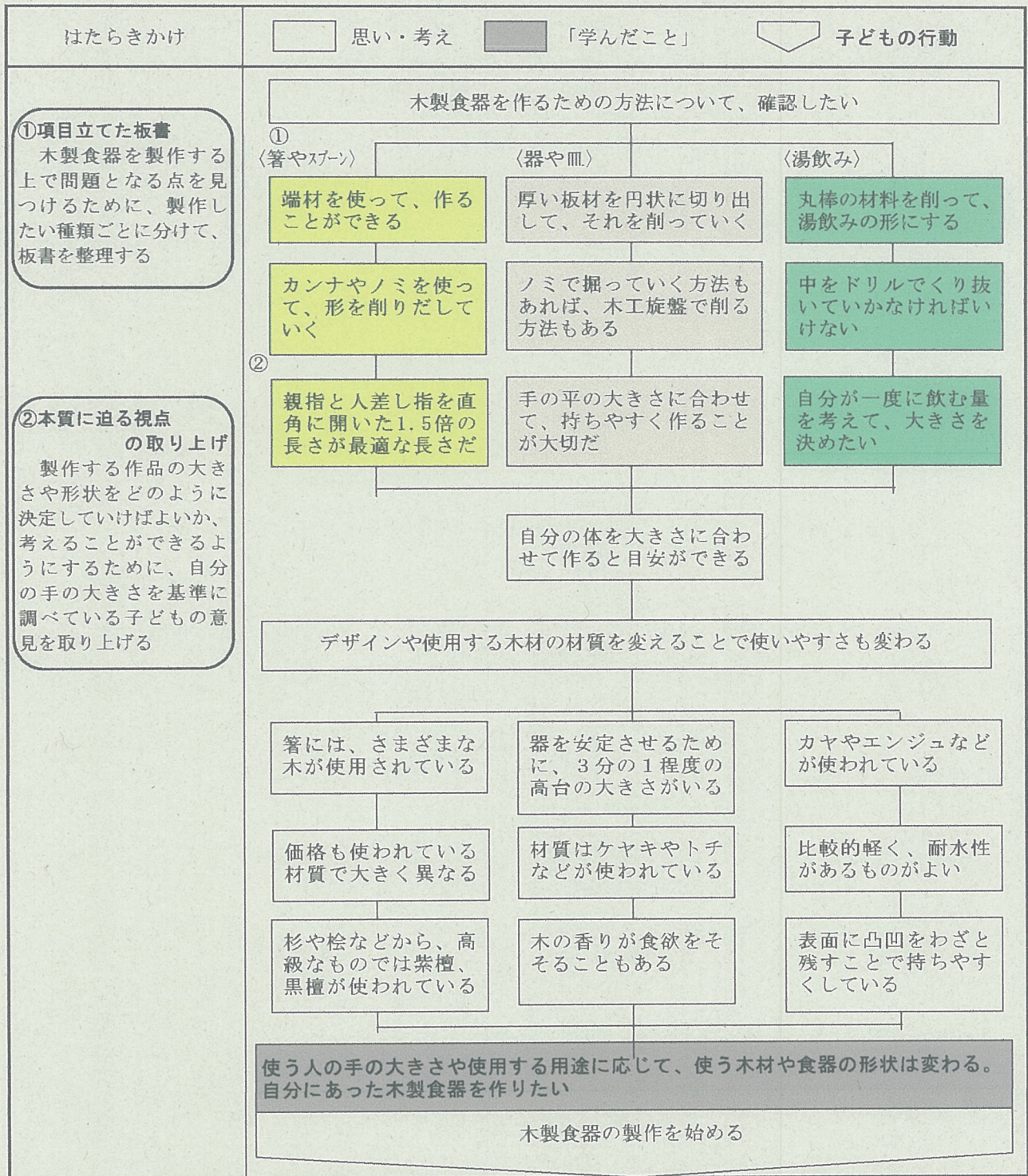
#### 4 本時の構想 (5/15)

子どもは、木製食器が給食で使用される中で、手触りがよいため食器をもって食べる子どもが増えたり、口当たりがよいため、おかわりする子どもが増えたりする効果について知ることができた。そこで木製食器が、食べやすく工夫されている点について、さらに詳しく知ろうと、製作過程を追究してきている。

本時は、子どもが木製食器の使いやすさについて考えを深めることができるように、木製食器の製作について追究した内容を元に意見交流を行う。製作したいものごとに項目を立てて、板書に整理していくことで、大きさや形状など共通して考えるべき問題に気づく。

そこで、食器の大きさは自分の手の大きさを元にして決定すべきだと考えている子どもを指名することで、食器のデザインが使いやすさに関わっていることに気づくことができるようにする。

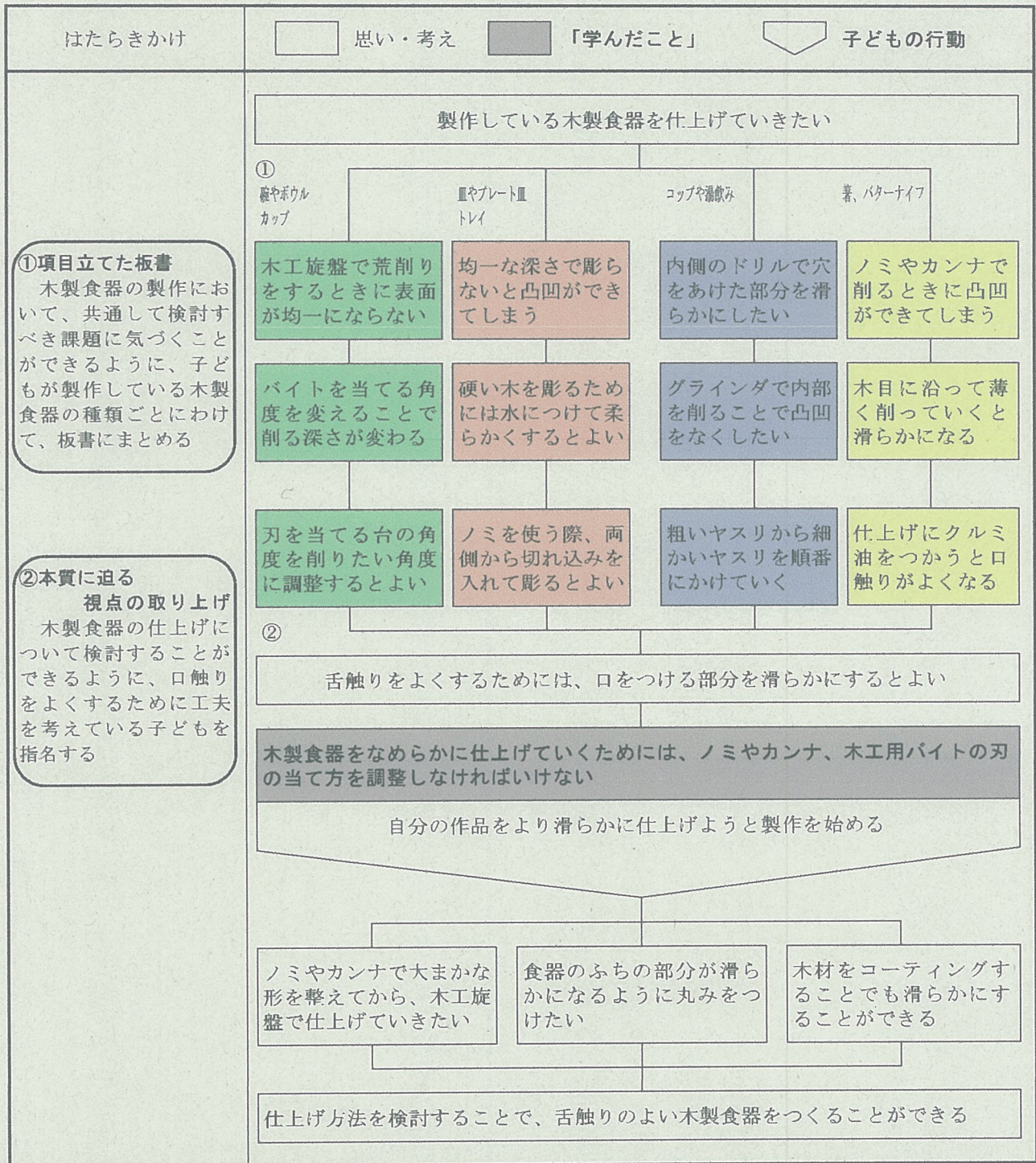
また材質についても、木材の種類によって、木目の出方や価格、硬さによる食感などが変わることにも気づき、自分がどんな木製食器にしたいか具体的に考えることができるようになる。



#### 4 本時の構想 (11/15)

子どもは、木製食器が給食で使用されている様子に出会い、手触りがよいため食器をもって食べる子どもが増えたり、口当たりがよいため、おかわりする子どもが増えたりする効果があることについて知ることができた。そこで子どもは、自分たちも木製食器を製作し、それを使って食事をしたいと考え、木製食器の製作方法を調べ始めた。木製食器の製作についての意見交流では、使う人の手の大きさや中に入りたいものの大きさに応じて、形状を決めることが大切だということを知ることができた。そして、自分が望む木製食器を製作するために、適切だと考える木材を購入し、加工を進めてきている。

本時は、子どもが木製食器を仕上げていくために、現在問題になっていることについて、意見交流を行う。それぞれが製作している木製食器の種類ごとに問題になるところを出し合いながら、それを改善するための方法について意見交流を行う中で、仕上げ方法を工夫することで舌触りのよい食器に上げるために大切なことに気づき、それを実践しようと活動し始める。



段階	主なはたらきかけ	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px; margin-right: 5px;"></div> 思い・考え                     <div style="background-color: #cccccc; width: 20px; height: 10px; margin-left: 10px; margin-right: 5px;"></div> 「学んだこと」                     <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px; margin-left: 10px; margin-right: 5px;"></div> 子どもの行動                 </div>	技術・家庭科で重視する力
気づく	<p>○生活経験を伝える</p> <p>木製食器の歴史や、食器の役割、食器の使い方、食器の選び方、食器の修理、食器の処分などについて、子どもにわかりやすく伝える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>家では陶器の茶碗を使ってる    プラスチック製の食器もある</p> <hr/> <p style="text-align: center;">木製食器で食事をしたい    1時～2時</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">材質的に柔らかいので舌触りがよい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">木製は、熱いものを入れても持ちやすい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日本は昔から木製食器を使っていた</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">器に皿、箸にスプーンなど用途が広い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">肌触りがよく、手でもって食べやすい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">木目が美しく、食材が美味しく見える</div> </div> </div>	<p>★生活を見つめる力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな食器が用途に応じて、使われている理由について気づくことができる</li> </ul>
	<p>○個性を追求する</p> <p>子どもが、食器の個性や、食器の作り手、食器の歴史、食器の文化などについて、興味を持って調べ、自分の考えや意見を述べる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">木製食器は、肌触りがよいので、手にもって食べやすく、口触りもよいので食事が美味しくなる。木製食器がどうやって作られているのか知りたい</p> <p style="text-align: center;">木製食器について調べる    3時～5時</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">使いやすい箸やスプーンの長さがある</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食器によって使われている木材が変わる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食べやすい形、持ちやすい形がある</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">親指と人差し指を直角に開いた1.5倍の長さが最適な長さだ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">器や皿は、変形が少ないトチやケヤキが使われている</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">持ち手を太くしたり、表面をへこませたり工夫をしている</div> </div> </div>	<p>★技術を判断する力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木製食器の製作に関わって、無駄な材料を出さないように工夫している技術を知る</li> </ul>
追究する	<p>○子ども同士の対話と授業日記</p> <p>子ども同士が、食器の製作過程や、食器の個性、食器の歴史などについて話し合い、授業日記に記入する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">使う人の手の大きさや使用する用途に応じて、使う木材や食器の形状は変わる。自分にあった木製食器を作りたい</p> <p style="text-align: center;">木製食器を製作する    6時～12時 (本時12)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">丸のみを使って、木材を掘ることで表面に凹凸を出したい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">木工用旋盤で削り出すことで、表面のなめらかさを出したい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ひびや割れのない材料を選択しなければいけない</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">デザインを工夫することで食器を使う人の心も和ませられる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仕上げをしなければ傷ついたり、カビたりしてしまう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">木製食器は使用後に水気を取り、乾燥させなければいけない</div> </div> </div>	<p>★知恵や技術を活用する力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防水、防カビ加工などで使われる技術が環境や安全面に及ぼす影響を考え、適切な技術を選択し、活用しようとする</li> </ul>
	<p>○合意形成を図る</p> <p>子ども同士が、食器の製作過程や、食器の個性、食器の歴史などについて話し合い、合意形成を図る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">表面をコーティングし、防水、防カビ仕上げをすれば、傷みにくくなる。安全で、長期間使える仕上げを調べなければいけない</p> <p style="text-align: center;">木製食器の塗装を調べ、仕上げを行う    13時～15時</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">漆で仕上げると熱や湿気、酸に強くなる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">植物オイルだと木の風合や手触りが残る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">塗装がはがれてきたら廃棄時期になる</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一つ一つの作業に時間がかかるが、高級感がでる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">臭いは残るが、体に害のあるものは入っていない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">木材は廃棄しても、燃やすことで灰になり自然にかえる</div> </div> </div>	<p>★生活や社会のあり方を導き出す力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全性だけでなく、価格や生産性など消費者だけでなく生産者からの立場からの思いや考えもすりあわせ共同で結論を導き出す</li> </ul>
つなぐ	<p>○合意形成を図る</p> <p>子ども同士が、食器の製作過程や、食器の個性、食器の歴史などについて話し合い、合意形成を図る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">木製食器の製作過程を知ることで、安全性や機能性を見つめ直すことができた。日常生活の中で使用している製品がどのように作られているのか知ることは大切だ</p> <p style="text-align: center;">木製食器以外の食器の製作過程も調べ始める</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">他の素材でできた食器の安全性や機能性はどうか</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">高価なものも、長く使えば結果的に安価になる</div> </div> </div>	